



国道399号線で前田・八和木方面から長泥地区に入ると、すぐにつづら折りの峠に差し掛かります。4月中旬、並木の桜花が峠を覆うように咲き誇り、長泥に春の訪れを告げていました。

# 飯舘 百景

## 長泥の春景色



峠から望む桜。例年より2週間以上早く咲きました。



住民が震災前から植えていた水仙の群生も満開。



春風がそよぐ白鳥神社の参道。奥に桜が見えます。

4月半ば、長泥地区に、春爛漫の景色が広がっていました。

国道399号線から地区に入ると、すぐに峠に差し掛かります。そして、峠道に沿って桜並木が続きます。地区の皆さんが協力して下草を刈り、弱った枝を切り、避難が続く中で、守り続けてきた「長泥の桜」です。満開の枝をくぐりながら峠を降りて行くと、中腹には「ようこそ花の里長泥へ」と刻まれた石碑。

「長泥の桜」は、特定復興再生拠点区域等の避難指示解除を間近に控え、二層誇らしく咲いているように見えました。

有志が手入れを続ける白鳥神社の周辺にも、春の花がほころび、神社から比曾地区に抜ける県道沿いには、白や黄色の無数の水仙が折り重なるように咲いています。

自宅周りの草刈りに通う人も少なくなく、地区の方によると「帰還困難区域でありながらこんなにきれいな場所は見ることがない」と言われてきたそうです。「花の郷」の復活を目指し、「長泥復興組合」による花木の植栽も昨秋から始まっています。

12年もの長い間、閉じられていたゲートが開きました。来年はどんな花の季節を迎えるでしょうか。